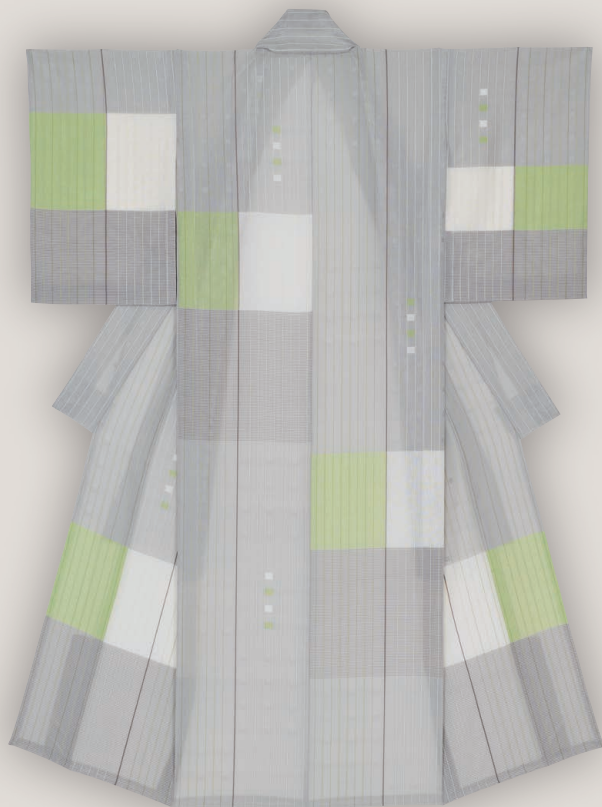


文部科学大臣賞

ゆうぜんほうもんぎ「なみにさかな」

友禅訪問着「波に魚」 大村 幸太郎

作品の発端は、線の羅列や交差のみで何か風景がでないかということでした。それを繰り返すうちに、この構図が出来上がりました。



日本工芸会会長賞

こめおりきもの「がーでん」

穀織着物「Garden」 海老ヶ瀬 順子

春になり庭の草木は湧き出るが如く次々と芽を出し若い葉は輝いて見えます。庭仕事をしている時、ふとこの若草色の生かせる着物をとを考えました。

日本工芸会新人賞

たんおうどうこうす

鍛黄銅合子

「つきよのほまべ

「月夜の浜辺

さめがれい」

サメガレイ」

植田 千香子

まんまるのお月さまが登る夜、水面の下の砂の中に身を潜めるカレイを、鍛金と煮色で表現しました。



日本工芸会奨励賞

きりかぬがざりぼこ

截金飾篭

「こうさいまんげ」

「光彩万華」

藤野 聖子

春の日の光と風が繰り広げる優しく煌めく幻想的な空間を表現しました。



第70回

日本伝統工芸展

京都展

10月11日(水)→15日(日) 京都市京セラ美術館

ご入場時間＝午前10時～午後5時30分(午後6時閉場) ※最終日10月15日(日)は午後3時30分まで(午後4時閉場)

入場料(税込)＝一般500円(当日券のみ)／大学生以下無料

主催＝京都府教育委員会、京都市、NHK京都放送局、朝日新聞社、日本工芸会 後援＝京都府、京都市教育委員会 協賛＝パナソニック ホールディングス

※「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料とさせていただきます。 ※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

列品解説・自作を語る

- 10月11日(水) 午後2時〈陶芸〉石橋 裕史
- 10月12日(木) 午後2時〈漆芸〉浅井 康宏
- 10月13日(金) 午後2時〈木竹工〉村山 明 重要無形文化財保持者
- 10月14日(土) 午後1時〈染織〉村上 良子 重要無形文化財保持者(受賞者:大村 幸太郎、海老ヶ瀬 順子)
- 午後2時〈人形〉青江 桂子
- 10月15日(日) 午後1時〈諸工芸〉渡邊 明(受賞者:藤野 聖子)
- 午後2時〈金工〉高橋 阿子(受賞者:植田 千香子)

特別展示 わざを伝える

- 「白磁」前田 昭博 重要無形文化財保持者
- 「木工芸」須田 賢司 重要無形文化財保持者

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第70回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品約320点を一堂に展覧いたします。



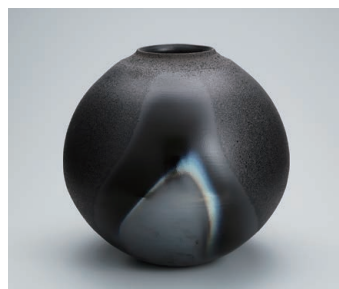
日本工芸会総裁賞
ちようつばこ「はるかに」
彫漆箱「遙かに」
松本 達弥



高松宮記念賞
じんだいすきまさめづくりいためぞうがんにだんじよく
神代杉柁目造板目象嵌二段卓
福嶋 則夫



東京都知事賞
ぬのめけしもりぞうがんへんけいてつかき「あうん」
布目銷盛象嵌扁形鉄花器「阿咩」
鹿島 和生



NHK会長賞
やきしめようへんつぼ
焼締窯変壺
山本 佳靖



朝日新聞社賞
とうちようさいしき「むてき」
陶彫彩色「霧笛」
中村 弘峰



日本工芸会保持者賞
ゆうせんしっぽうちゆうしゅうもんかき
有線七宝抽象文花器
柴田 明



第70回記念賞
つむぎおりかすりきもの「みなも」
紬織拵着物「みなも」
大高 美由紀



第70回記念賞
まさえはこ「こもれびのくまがいそう」
蒔絵箱「木洩日の熊谷草」
鬼平 慶司



第70回記念賞
にれもくがかざりばこ
榎木画飾箱
島田 晶夫



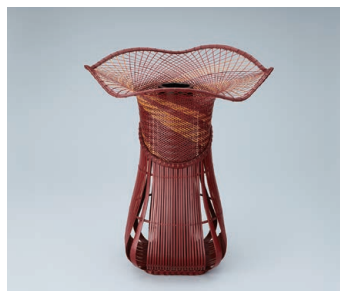
日本工芸会奨励賞
さいでいせんもんぼち「はなびらだんす」
彩泥線紋鉢「花びらだんす」
宇佐美 成治



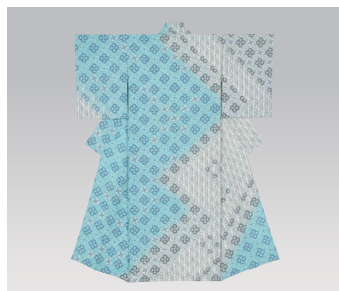
日本工芸会奨励賞
ろうざんじぞうがんはこ「とき」
臙銀地象嵌匣「時」
奥村 公規



日本工芸会奨励賞
ろうざんもりき「しき」
臙銀盛器「式」
松本 育祥



日本工芸会奨励賞
はなご「ふいり」
花籠「斑入り」
江花 美咲



日本工芸会新人賞
もくはんずりさらさきもの「そうしょう」
木版摺更紗着物「蒼晶」
鈴田 清人



日本工芸会新人賞
かんしつきんまぼこ「るりとうか」
乾漆蒟醬箱「瑠璃藤花」
北岡 道代

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上る 京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205 <https://nihonkogeikaikinki.jp/>



日本伝統工芸展京都展 実行委員会事務局

(京都府教育庁指導部文化財保護課)

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町

TEL. 075-414-5905